

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	人工膝関節置換術において軟部組織バランスに影響を及ぼす因子に関する研究	
1. 研究の目的と方法	人工膝関節置換術は、膝の痛みをやわらげ、歩きやすさや日常生活のしやすさを改善するために広く行われている治療です。しかし、手術後の痛みや動かしにくさ、不安定感などが残ることがあり、その結果には個人差があります。この研究の目的は、人工膝関節置換術のときに、膝のまわりの筋肉・靭帯などのバランス（軟部組織バランス）に影響する要因を調べることです。これにより、今後の手術計画や手術方法の改善につなげ、より良い治療成績を目指します。そのために、患者さんのカルテの情報を収集し、評価・検討を行います。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院・西部医療センターで2015年4月1日～2026年3月31日までの間に人工膝関節置換術を受けた20歳以上の方	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	患者背景：年齢、性別、身長、体重、BMI、罹患側、診断名、既往歴、併存疾患 術前臨床所見：術前膝関節可動域、屈曲拘縮の有無および程度、内外反不安定性の有無、術前臨床スコア 術前画像所見：単純X線所見、下肢アライメント、内反または外反変形の程度、関節裂隙狭小化・骨棘形成・骨欠損の有無、必要に応じてCTまたはMRI所見 術中因子：手術日、術者、術式、使用したインプラント機種、固定方法、骨切り量、コンポーネント設置角度または設置方針、後十字靭帯温存/切除の別、軟部組織解離の有無・部位・程度、術中合併症の有無 軟部組織バランス関連項目：伸展位ギャップ、屈曲位ギャップ、各肢位での内外側ギャップ差、テンショナー使用時の計測値、術中に判定されたバランス評価 術後項目：術後下肢アライメント、術後可動域、術後早期合併症、術後臨床成績
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。	

	試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
	(1)当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名 東京慈恵会医科大学 整形外科学講座
		氏名 斎藤 充
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3)当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ
	(4)共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026年4月頃～	
<b>【問い合わせ先】</b>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 整形外科学講座  研究責任者：教授 斎藤 充（さいとう みつる）  窓口担当者：助教 山下 祐（やました ゆう）  電話番号：03-3433-1111（内線 3441）  対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p> <p>機関名：西部医療センター 整形外科  窓口担当者：前田 和洋（まえだ かずひろ）  電話番号：03-3480-1151（内線：3710）  対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。